



多摩西部・高松分会の新年会

北海道立川店

立川北駅 徒歩2分

【多摩西部・書記・渡邊宏 規通信員】JR立川駅徒歩3分、多摩都市モノレール立川北駅徒歩2分の好立地で、宴会の集合解散に便利な場所にある「北海道立川店」。店内

は大小個室を完備した落ち着いた雰囲気、歓迎会など様々なシーンに対応可能なついで、多摩西部支部では各分会の新年会や忘年会、青年部などの専門部会で使用しています。

北海道各地でとれた食材を使用し、「素材から始まる美味しさ」を、真心のおもてなしで「をモットーに、サンギ、ラーメンサラ



味噌が絶品の毛蟹 サービスで横断幕作製も

蟹味噌が絶品の「毛蟹」がお客様に喜ばれる「スワイ蟹」、上質な甘みの「スワイ蟹」、蟹味噌が絶品の「毛蟹」がお

生ビール中 590円
いかゴロホイル焼き680円
蟹味噌グラタン 880円
ジンギスカン素揚げ780円
毛蟹茹で 各4980円

営業時間 年中無休・16時〜24時(料理ラストオーダー23時、ドリンクラストオーダー23時半)
東京都立川市曙町2-8-5
シネマシティビル11F
☎050-5815-455

忘れえぬ山

疎開から戻ると大空襲 焼死体の山に怒り

暁 鈴木隆昭



昭和7年6月、新宿の淀橋生まれの私。淀橋第6小学校の生徒は群馬県の安中町に学童疎開をしました。昭和19年7月です。信越線の磯部駅で先発の板橋小学校の学友達が迎えてくれました。碓氷川を渡り、山の方へ1時間ほど歩

いてお寺へ。田舎を知らない私は、良い所だと思いました。夜は本堂にフトンを敷いてザコ寝です。寝る前になるとシクシク泣き声があります。家が恋しくなりました。お寺も農家の人達も親切で、お正月は4人1組を家へ呼び、お風呂においしい御馳走まで振る舞ってくれ、とても嬉しかったです。

明けて20年3月、6年生だけ中学進学のために東京へ帰ることになりましたが、帰った夜から空襲です。アメリカ

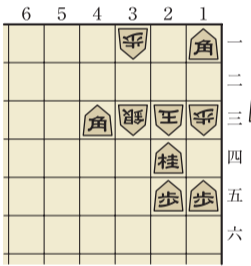
スガ、次世代の公共交通システムとして世界の注目を集めている。鉄道に比べ、維持費やコストも7割近く削減できるという。

創業者のアナトリー・ユニツキーがこのシステムを思いついたのは30年前。ロシア当局から妨害を受けたが、チェルノブイリ事故で生まれ故郷を失った経験から、なんとしても環境に優しい乗り物をと、開発をあきらめることはなかった。

軍の落とす焼夷弾で空は真っ赤。3月10日の下町一帯の大空襲は、一夜にして10万人以上の人達が命を失った。アメリカ軍による世界に類のない大虐殺でした。5月25日は新宿を中心に山の手方面の大空襲です。妹を背負い弟の手を握って猛火の中、母親と必死に逃げ廻りました。父親は兵隊で外地です。明け方やっと空襲も終わり、我が家の方へ行くと多くの焼死体や親と離れられた仲間たちの遺体があり、こんな恐ろしい光景は見た事もなく腹立たしさは子ども心にも忘れられません。

今、新宿も高いビルが建ち並び、平和のありがたさを感じます。戦争の恐ろしさを知らない安倍内閣に、平和を守る大切さと悲惨な戦争の恐ろしさを知らせて、大きな宝物の平和を残していかなければならないと思います。(新宿)

詰将棋



チヨット一服(987)

1日16時間労働を続けてきた大阪市のコンビニオーナーが、本部との契約に反して24時間営業を止めたことが話題となった。深夜労働に従事する労働者が集まらず、オーナー自らが働いていたが、限界になったという。コンビニは粗利の一定割合を対価とし

て本部へ納める仕組みなので、利益を上げようとするば人件費を削るしかなく、アルバイトも集まらないのだ。もう24時間営業を止めてもよいのではないか。働き方改革が求められているなか、たとえ、社会インフラの役割がコンビニに求められるとしても、ブラックな営業を放置してよいわけがないだろう。



カジノミクス 大門 実紀史

売国バクチ経済の化けの皮を剥ぐ



民から集めた年金積立金が株式や債券投資に向けられるまさにバクチ経済であり、勤労者の賃金の大幅な引き上げを通じ、まともな資本主義に進むことを提案しています。読みやすい本です。一読をお勧めします。(新日本出版社・1836円税込)

【本部・清水謙一記】筆者は現日本共産党参議院議員、元東京土建書記長。副題が「カジノ解禁」「アベ銀行」「年金積立金バクチ」の秘密とあるように、筆者が一貫して国会論戦で追求したテーマである日本経済のカジノ化「アベノミクス」の危険性と打開の方向について書かれています。

前半はカジノ解禁そのものの道理のなき、危険性を明らかにしています。著者が国会で質問して話題となった、日本で最初のとほく禁止令が西暦689年の「双六バクチ禁止令」であったこと。カジノ集客見込みの7〜8割が日本人とされ、日本の個人金融資産に目を付けたアメリカなどの海外大手カジノ企業の狙いであること。特に2025年大阪万博に向けたカジノ開設が極めて危険であり、「地獄のふたを開ける」ことになる」と警告しています。

後半は、アベノミクスが進める異次元の金融緩和の本質について鋭い指摘が続きます。日銀の中立性をゆがめたこと、そしてアベノミクスの本当の狙いが、株高の演出だと指摘します。

昨年末、株価2万円台を維持するために、日銀が東京株式市場に介入したことを思い出しました。

そして、その末路が日本をヘッジファンドなどの海外投資家に安売りの結果になることと警鐘を鳴らしています。さらに株価維持のために国